

平成 19 年度 学術ポータル担当者研修レポート

8-1 荒巻なほみ 宮崎大学学術研究協力部情報図書課医学分館利用係

8-2 市原瑞基 宮崎大学学術研究協力部情報図書課情報管理係

(1) 発表資料の状況設定

学科会の前に時間をもらい、過去の論文についてリポジトリへの登録と公開を許諾していただく。また、リポジトリについても説明を行い、これから書かれる論文等の登録も働きかける。

なお、説明対象は、『宮崎大学学術情報リポジトリ』についてある程度ご存知の先生方である。

(2) 発表内容抄録と研修当日の講師からの助言、及び研修発表との改訂部分

専門用語を使わず、説明が唐突な部分を改訂した。また、アニメーションは、効果が期待されると思われる部分に使うようにした。

また、登録の際、先生方の負担にならない形を取ることにした。

発表者が必要なく途中で替わるのはよくない、との指摘がありリハプレゼンでは改めることにした。

(3) リハプレゼンの概要

日時： 9月11日(火)

場所： 附属図書館本館 視聴覚室

発表者： 研修当日の講師からの助言を受け、市原が担当した。

参加人数： 情報図書課職員 約 10 名

状況設定： 学科会の前に時間をもらい、過去の論文・これからの論文をリポジトリへの登録と公開を許諾していただく。また、リポジトリについても説明を行い、これから書かれる論文等の登録も働きかける。

なお、説明対象は、『宮崎大学学術情報リポジトリ』についてある程度ご存知の先生方である。

配布資料： プレゼン資料

リポジトリダイジェスト(リポジトリ概要を A4 用紙一枚にまとめたもの)

アンケート

(4) リハプレゼンへの反響

リハプレゼンでは、登録のお願いと著作権の説明、さらにシステムでの登録方法などを盛り込みすぎ、予定時間をオーバーし、焦点がぼやけた。アンケートで以下のような意見が出たので、さらに改訂した。

- ・リポジトリの説明は、リポジトリの存在を知らない先生に対しては不十分なので、目的の説明に時間をかけ、登録方法等は別の機会を設けるという方法もある。
- ・全項目をきちんと説明すると時間がかかるので、リポジトリの必要性と登録の仕方、システム上手続きの説明は分けたほうがよい。
- ・ 具体的なシステム操作は、別途マニュアルを用意し、個別に説明に出向く形を取ったほうがよい。
- ・ リポジトリダイジェストについて、 誰に向けた資料なのか、もう少し工夫したほうがよい。

(5) その他

学科ごとに目的を明確にして作成したほうがよいと感じた。その後、実際の学科会議のために改訂し、実際に使用したものが提出資料である。

リポジトリダイジェストは教員一般(学部を絞らない)向けとし、改訂したが実際にはまだ配布していない。